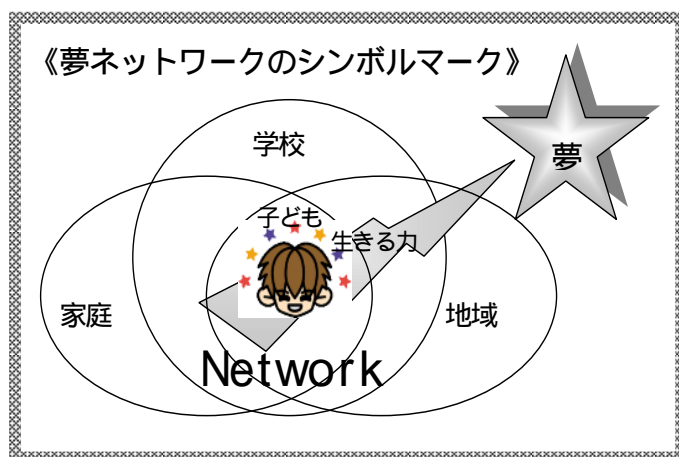
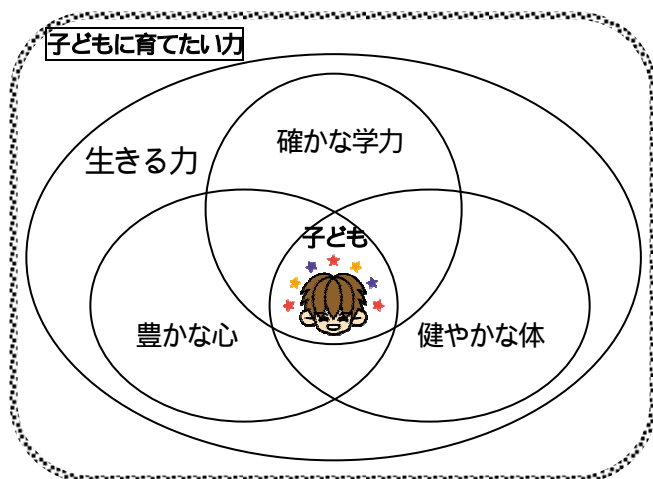


平成21年度学校経営計画 チーム八小プラン

夢ネットワーク経営構想

子どもの夢・教育の夢の実現を目指す学校づくり

『夢』は生きる力の原動力である。夢をもち、夢の実現に見通しをもって、粘り強く努力し前進する子どもを育てたい。教育の夢を共有して協働する学校組織を創りたい。保護者・地域の子どもへの夢を確かに受け止め、連携して実現させる学校を創りたい。その実現の鍵となるのは、ネットワークの発想を生かした『チーム力』である。平成23年度完全実施の新学習指導要領を踏まえ、子どもの『生きる力』を育成するために『チーム八小プラン～夢ネットワーク経営構想』を構築した。



1. 経営の理念

新学習指導要領の趣旨を実現し、子どもの『生きる力』を育てる。

平成23年度完全実施の新学習指導要領を踏まえ、本年度から移行措置を始める。子どもに育てたいのは、『生きる力』である。子どもはどの子も、よりよき自分に出会いたいと願っている存在である。たとえ、今の姿にそれが見られなくとも、何らかの環境から表現できていないだけであり、心の奥には必ず願いがある。そのために、子どもに確かな『夢』をもたせたい。『夢』は、目標・ゴールの姿とも換言できる。夢は『生きる力』の原動力となる。夢をもち、夢の実現に見通しをもって、粘り強く努力し前進する子どもを育てたい。どこまでも子どもを信じ、真に子どもをはぐむ学校でありたい。

ネットワーク・コミュニケーションの発想でチーム力を高める。

本校の教育で目指す『夢』を共有して、教職員が一体となって協働し実現させていく学校を創りたい。人には、誰にも自分ならではの強みがある。一人一人の強みを結集し、チーム力を発揮させたい。その実現の鍵となるのは『ネットワーク』の発想である。『ネットワーク』とは、その本質に『個の確立・自発性・相互性・創造性』がある。換言すれば『一人一人の確かな力を、自ら進んで発揮し合い、互いのよさを学び合い連携して、目標を目指して豊かで新たなものを創造すること』となる。子どもに獲得させたいコミュニケーション能力を我々も大いに発揮し、教職員一人一人がチャレンジと提案で学校経営に参画してほしい。

学校・家庭・地域の協働体制で、地域とともに地域に生きる学校を創る。

子どもは家庭・地域の中で生きている。そして、家庭・地域も子どもや教育への『夢』をもっている。これからの教育は、学校の中だけでなく家庭・地域と協働体制で行う発想が重要である。新学習指導要領でも、家庭・地域との連携・協働が大きく打ち出された。学校の『夢』を家庭や地域に大きく発信し、家庭や地域の共感や支援を得てこそ子どもは大きくダイナミックに成長する。同時に、家庭・地域の子どもへの『夢』を確かに受け止め学校教育に生かしてこそ、両者の『夢』は子どもの『夢』の実現にプラスに働く。ネットワークの発想が生かし、家庭・地域、異校種間、関係諸機関等、子どもを取り巻く様々な地域力と連携・協働する『チーム八小』を創りたい。公立学校の高さや特色は、地域力の支援が決め手となる。

キーワード
構想図

チーム八小プラン 夢ネットワーク経営構想

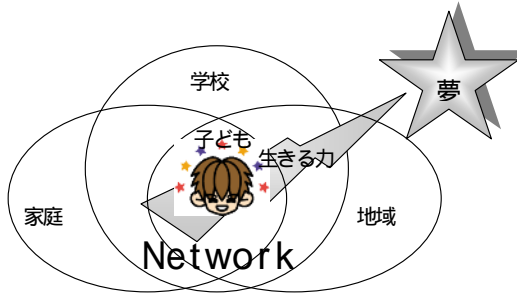
協働&コミュニケーションの運動で!

【 経営の理念 】

新学習指導要領の趣旨を実現する平成21年度の学校経営構想として、本校がこれまで培ってきた学校の特色や学校・家庭・地域との協働体制を十分に生かした構想を考えた。下記はそのキーワードを構想図に表したものである。特に、家庭とは基礎基本の習得や学習習慣の確立を中心に、地域とは豊かな心と健やかな体づくりを中心に学校から発信して協働体制を構築し、地域と共に地域に生きる学校づくりを実現する。

《学習指導要領改訂の基本的な考え方》

- 改正教育基本法等を踏まえた学習指導要領改訂
- 「生きる力」という理念の共有
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 確かな学力を確立するために必要な授業時数の確保
- 学習意欲の向上や学習習慣の確立
- 豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実



《本校の特色を生かした取り組み》

- 校内研究(子どものコミュニケーション能力を育てる外国語活動)
- 動物ランド活動(ヤギ・ウサギの飼育)
- 全校の合言葉「八小の子どもは ていねいな言葉で話します」
- 「チーム八小」(組織協働)の取り組み
- 授業改善・人材育成の取り組み(提案チャレンジ制度・パワーアップ研修)
- 保護者・地域との連携(八小の子どもを守る会・はちっ子JOYくらぶ)

学校

- *学校の教育目標**
よく考え実行する子ども
心豊かで思いやりのある子ども
心も体もたくましい子ども
- *立川市の学校教育の指針**
確かな力・やさしい心・
個を輝かせ・社会のために
- *「生きる力」の共通理解**
- *「学力」の共通理解**
- *学校経営の重点**
確かな学び・やさしいかわり・
心と体の健康・連携と協働の学校
- *組織協働のキーワード**
チーム八小・夢ネットワーク・コミュニケーション&コラボレーション
- *学校の特色ある活動**

教育課程編製の工夫

- * 授業時数の確保
- * 習得・活用・探究型の教育活動
- * 総合的な学習の時間の改善
- * 言語活動・道徳・体育の充実

運営組織の改編

- * 一役一人制の組織体制
- * 主幹・主任教諭を中心としたミドルリーダーの育成
- * 強みを生かした経営参画

校内研究の充実

- * 立川市教育委員会
外国語活動推進校
指定。コミュニケーション能力の育成

確かな学力を育てる 授業づくりの推進

- * 授業改善推進プランの実現
- * 習得・活用・探究型の授業作り
- * 『原則は明確に実践は多様に』

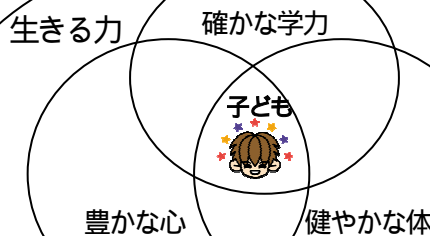
コミュニケーションと連動した組織の協働 組織を創る人と人とのコミュニケーション合言葉

- 『Smile』『Eye Contact』『Listen Listen』
- 『Good job』『Challenge & follow』『Open mind』
- 受容・許容・信頼・尊重・共有

人材育成の推進

- * 提案チャレンジ制度の推進
- * 主幹・主任教諭・若手教員の育成
- * パワーアップOJT研修

子どもに育てたい力



基礎基本の習得・学習生活習慣 作りを家庭との連携・協働で!

- * 全校音読カード* 全校読書活動
- * 生活リズム表・家庭学習推進の取り組み* 親子参加のプロジェクト 等

豊かな心・健やかな体づくり を地域との連携・協働で!

- * 地域連携の挨拶運動* 地域連携トリム* 地域連携ふれあい活動等

家庭力の向上

教育相談体制による保護者支援

家庭との連携

学習習慣・生活習慣の確立 PTAとの連携

家庭

地域の中で子育てを! 学校も連携協働!

- * はちっ子 Joy くらぶ
- * 地域防災訓練* 親子地域プロジェクト* 自治会
- * 青少健* 子ども会 等

地域との連携

- 地域青少健(挨拶運動)
- 地域体育会(トリム)
- 地域老人会(ふれあい活動)
- 八小の子どもを守る会

幼保・小・中連携

- 6年生の中学模擬授業体験
- 幼保年長児の小学校体験事業
- 教員交流・小中カリキュラム

地域

2. 学校経営の基本理念

「夢+協働+前進=子どもの変容・確かな成果」

平成23年度完全実施の新学習指導要領の趣旨を実現する学校づくりをする。

育てたい子どもの姿を明確にし共有して、子どもの変容の姿や確かな成果の形で追求・実証していく。

全教職員が協働して目標の実現を目指す組織体制「チーム八小」を創る。

常に自己研鑽に励み、自らの指導力を高めていく教職員を育てる。

自己の強みを発揮し、学校経営に参画する教職員を育てる。

子どもを慈しみ、学校を愛し、教育公務員としての自覚をもち、保護者・地域に信頼される教職員を育てる。

責任感・使命感をもって教育に邁進し、「迅速・的確・誠実」を常に心がける教職員を育成する。

保護者・地域との連携・協働を推進し、地域に生きる学校を創る。(学校・家庭・地域による「チーム八小」を目指す)

3. 学校の教育目標

憲法の精神に則り、人間尊重の精神を基調とし、個性豊かでたくましく生きる、心身ともに調和のとれた児童の育成をめざし、次の教育目標を設定する。

よく考え実行する子ども	(自ら考え、正しく判断し、実践する児童の育成)
心豊かで思いやりのある子ども	(いつくしむ心で、人・もの・自然と豊かにかかわる児童の育成)
心も体もたくましい子ども	(心身ともに健やかで、粘り強くやりぬく児童の育成)

この教育目標は、本校に在籍する全ての子どもに身に付けさせたい目標であり、保護者・地域に対しては6年間、本校に通わせればこんな子どもを育てます、と約束するマニフェストである。したがって、全教職員が共通理解を図り、学年経営、学級経営、教科経営の根幹に位置付け、日々、具現化を図りたい。

保護者等の学校関係者評価の結果を受けて、昨年度と同様に、平成21年度も「心豊かで思いやりのある子ども~いつくしむ心で、人・もの・自然と豊かにかかわる児童の育成」を重点目標として教育活動を行っていく。

また、本校の教育活動のキーワードを「確かな学び」「やさしいかかわり」「心と体の健康」「連携と協働の学校づくり」とし、子どもたちの成長を確かなものとしていく。

4. 目指す学校像

何よりも子どもと授業を大切に作る学校

- ・学校は子どもをはぐくむ場である。・学校において一番長い時間を占めるのは授業である。1時間1時間の授業を大事にし、ねらいの明確な授業、子どもの意欲と身に付く力を高める授業を展開する。・子ども一人一人の心に寄り添い、一斉指導と個別指導を連動して行う。・授業の質は学級経営と連動して高まることを踏まえ、学級経営の充実を図る。

教職員が学び合い高め合い協働する学校(研究と協働の学校)

- ・教職員一人一人が常に自己研鑽に励み自己の力を高める。・課題意識を明確にもち、常に自己啓発していく。
- ・自己の強みを磨き、学校経営に参画し、協働して学校力を高めていく。・研究・研修を学校づくりの中核に置く。

地域に生きる子どもを地域とともに育てる学校

- ・保護者・地域の子どもの夢や願いを確かに受け止め、連携・協働体制を構築する。・公立学校によさや特色は地域力の支援が決め手となることを踏まえ、積極的に発信・受信し、ともに学校づくりをしていく姿勢をもつ。

美しく誇りのもてる学校

- ・子どもも教職員も、「わたしの学校」と誇れる学校づくりをする。・『環境が人をつくる』ことを踏まえ、目指す児童像を実現する環境づくり、清潔で美しく機能的な環境づくりを行う。・安全・安心な学校は保護者・地域からの信頼の根幹。

目標の実現を目指して、果敢にチャレンジし前進し続ける学校

・『夢』をもつことを願うのは子どもだけではない。・『夢』は生きる力の原動力である。教職員も保護者も地域も『夢』をもってこそ前進する。・チャレンジと創造が、前進を確かなものにする。・課題意識を明確にもたないと成長は止まり後退に転じる。変化の激しい現代社会にあって、現状維持は後退であるとわきまえる。

課題解決に、組織がチームとして一体となって取り組む学校

・学校は組織体である。・多様な課題に迅速・的確に対応できるのは、全教職員の強みを生かした柔軟性のある組織力である。・一人一人の力には限界がある。個々のもつ多様な強みを生かしチームで結束してこそ、真の組織力となる。

5. 学校経営の基本方針（重点課題）

確かな学び

授業改善推進プランに基づき、学習内容の重点化・少人数指導・学習支援などによる個に応じた教育の一層の充実を図り、知識・技能の習得や活用・探究を視野に入れ、基礎的・基本的な学習内容の定着に努める。

授業を中心とした校内研究の充実及び学年・専科間での授業研究や校内のパワーアップ研修・学習情報交換等を通して、教職員の資質や授業力の向上を図り、児童が主体的に生き生きと活動する質の高い授業の実践に努める。また一役一人制の校務分掌組織を確立し、児童の学力向上や課題解決に的確且つ迅速に対応する。

言語環境を整備し、国語科を中心に各教科等において言語活動の充実を図り、外国語活動を通して表現力やコミュニケーション能力の向上に努める。

教育環境の整備や地域の教育資源の活用を通して、体験的な学習や問題解決的な学習の充実を図り、自ら主体的・創造的に学ぶ力や思考力・判断力・表現力の育成に努める。

やさしいかわり

人権教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、教育活動全体を通して児童に人権尊重の理念を正しく理解させ、相手を思いやり互いに支え合う温かな人間関係を築かせる。

飼育活動や自然と具体的にかかわる体験活動等を通して、道徳教育の充実を図るとともに、児童の規範意識や社会性を高め、よりよく生きようとする道徳的実践力を育成する。

特別支援委員会を設置し教育相談機能を充実させ、児童の実態を的確に把握し、特別支援教育支援員を活用して具体的な手立てを講じ、全職員の共通理解のもと組織的な指導を徹底する。

交通安全、防災、不審者への対応等の安全教育の充実と、施設・設備の点検、安全にかかわる教職員研修等の充実を図り、児童の安全確保に努める。

心と体の健康

教育活動全体を通じた児童の基本的な生活習慣の定着やトリム活動（なわとび、ストレッチ）・食育などを通して心と体の健康づくりの充実を図り、豊かな心や健やかな体を育てる。

児童一人一人のよさや可能性を認め励まし伸ばす指導と評価の一体化に努め、児童が自己有用感・自己肯定感をもって自ら学び続ける意欲と態度を育てる。

連携・協働の学校づくり

一役一人制の組織体制を通して、職員一人一人が学校運営に参画し、課題解決に向けて迅速・的確に対応する。また、地域の人々や自然・文化等と豊かにかかわる活動や、地域・保護者の支援を積極的に取り入れた学習指導等、地域や学校の特色を生かした教育を積極的に推進する。

学校評価（児童・保護者による自己評価）や学校評議員による学校関係者評価などを学校改善に生かし、地域・保護者と連携・協働する学校づくりを推進する。

6. 学校経営の具体的方針（方策）

（1）学習指導

本校の子どもたちに一番重要なのは、確かな学力を獲得させることである。そのために、授業改善推進プランに基づき習得・活用・探究型の授業づくりを行う。子どもの実態を的確に把握しねらいの明確な授業を計画的に行い、P(Plan) D(Do) C(Check) A(Action)のマネジメントサイクルで授業改善を図り、子どもの変容の姿で成果を実証していく。立川市教育委員会外国語活動推進校（4年目）として表現力・コミュニケーション能力を育成するとともに、本年度は国語を中心とした言語活動や算数少人数指導も充実させ、家庭と連携した学習習慣づくりを推進していく。

【各教科】

授業改善推進プランを基に指導と評価を一体化し授業力・指導力の向上を図る。漢字タイムなど基礎基本の継続的な学習を推進し、家庭と連携して学習習慣を確立し、学力の向上と定着を図る。

習熟度別や課題別学習、少人数指導等の指導体制による効果的なチームティーチングに取り組み、児童のつまずきに対してきめ細かく対応する。

国語科や各教科等において言語活動の充実を図り、体験的学習や問題解決的な学習の推進を図る。

【道徳】

人や社会・自然と具体的にかかわる社会奉仕体験活動を充実させ、指導の工夫を図る。

道徳教育推進教諭を中心に指導内容の重点化を図り、全体計画・年間指導計画をもとに、心に響く道徳の授業を目指し、考え・悩み・感動が共有できる教材や指導方法の工夫に努める。

道徳の時間を要として教育活動全体を通じて道徳教育を推進し、「道徳授業地区公開講座」では全学級の授業公開を通して、学校・家庭・地域社会の連携による道徳教育の充実を図る。

【総合的な学習の時間】

「生命の尊重」「人・もの・自然とのかかわり」を中心に児童自らが課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく解決していく力を育て、自己の生き方を考えるようにする。

各活動のねらいに沿って目指す児童像を明確にして全体計画や単元計画を改善し、地域の特色や個の課題を生かした体験的学習や問題解決的学習を工夫し、活動内容や指導方法の充実を図る。

担任・ALT・VLT（ボランティアの支援者）の連携した指導を通して、外国の言語や異なる文化への興味関心を高め、コミュニケーション能力を育てるとともに、日本の伝統や文化を尊重する教育を充実させる。

情報教育・環境教育を充実させ、各教科・領域との関連を図りながら、思考力や表現力を高める。

【特色ある教育活動】

全学年で英語活動に取り組み、コミュニケーション能力の向上に努め、国際理解教育を推進する。

各学年の発達段階に応じた飼育・栽培活動を継続して行い、「自然愛護」「生命尊重」の態度を育て、人・もの・自然によりよくかかわっていく力を高める。

地域資源を開発し「地域ふれあい資料館」を充実させ、地域資源（人・もの・こと）を活用した学習活動を積極的に推進する。また、家庭・地域と連携・協働した教育活動を推進する。

朝読書の時間を設定し、学校図書館支援指導員・図書ボランティア・市内図書館等を積極的に活用し、学校図書館の利活用を図りながら児童の読書活動を推進・充実させる。

地域と連携したトリム活動を中心に体育を充実させ、心と体の健康づくりを推進する。

（2）生活指導・進路指導

よい生活習慣が子どもの確かな力や健やかな成長を実現させる。「あいさつや返事をしっかりする」「正しく丁寧な言葉づかいをする」「約束や時間を守る」「話をしっかり聞く」「物を大切に使う」「善悪の判断ができる」等の基本的な生活習慣の定着を図るために、本年度は家庭との一層の連携・協働を図る。特に「挨拶・丁寧な言葉づかい」を徹底させる。また、その基盤となる心と体の健康づくりを充実させ、的確な児童理解と子どもとの信頼関係を構築する。

【生活指導】

言語環境を整えるとともに、あいさつ運動の充実を図り、礼儀正しく気持ちのよいあいさつや丁寧な言葉遣いの指導を推進する。

月目標を重点化し、月目標の意識化と自己評価を推進し、児童の活動を見届ける指導を徹底する。

児童の実態を的確に把握し、専門機関との連携を図り、毅然とした生活指導体制のもと、自己の言動に責任と自信をもたせる指導を継続的に行う。また、児童一人一人の気持ちを共感的に受け止め、いじめや不登校などの諸課題に対して、組織的に迅速・的確に対応する。

交通安全、防災、不審者への対応、セーフティ教室など児童の安全の徹底を図るとともに、児童が自らの安全を守れるように具体的な対処法を取り入れた実践的な指導を行う。

【進路指導】

個に応じた指導を充実させ、児童の自尊感情を養い、自らの生き方を考えながら将来に夢と希望をもってよりよく生きようとする態度を育てる。

幼稚園・保育園や中学校との連携を密にして、9～12年間を見通した教育活動を推進し、これからの生き方に希望や期待を高めるキャリア教育を推進させる。

(3) 学校運営

学校は組織体である。本校の教育が目指す目標実現に向けて、組織がチームとして一体となって取り組んでいきたい。そのためには、全教職員の力が必要である。全教職員一人一人が自己の強みを発揮し、担当した職務のリーダーとして学校経営に参画し、組織全体をリードする心構えで職務を遂行してほしい。併せて、組織的なマネジメントサイクルP (Plan) D (Do) C (Check) A (Action) で迅速・的確に進行管理するために、担当の主幹教諭・主任教諭への報告・連絡・相談を密に行う。主幹教諭・主任教諭は、管理職への報告・連絡・相談を確実に実行する。

学校の目標達成や課題解決のために、自己の強みを発揮して学校運営に参画していく。

主幹・主任教諭は、組織の機能を高め、教職員一人一人が力を発揮できるよう、リーダーシップを発揮し、指導助言する。初任教員・若手教員の指導・育成に全教職員があたる。日常的に授業を公開し合い、指導助言する。

学校全体の動きを視野に入れ、担当校務を全力で遂行する。主幹・主任や管理職への報告連絡相談を迅速・的確に行う。学校予算は税金であり、子どものためにある。計画的に管理・執行し、コスト感覚を高めて無駄を省く。会計事故を絶対に起こさない。

教育公務員として服務規律を遵守し、保護者・地域からの信頼を高めていく。サービス事故を絶対に起こさない。時間設定を厳守し、会議の効率化を図る。生み出した時間を子どもとの触れ合いや授業の教材研究等に当てる。

(4) 特別活動・その他

本校児童の実態から、本年度は特別活動の一層の充実を図る。学校は「人と人とのかかわり」を学ぶ場である。子どもが人と人のかかわりを大切にし、集団行動の規律を学び、個性や特性を発揮しながら自主性や実践力が高まるよう、活動や指導方法を一層工夫していく。また、家庭・地域との連携・協働体制を確立するために、保護者や地域の方と誠実に丁寧に対応し、常に話をよく聞く姿勢を明確にもつ。学校は常に注目されている。教育公務員として身を正し、いつでも説明責任を果たせるよう日々の職務に邁進し、保護者・地域とともに子どもを育てる関係を構築する。

【特別活動】

集団の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育て、自己の生き方について考えを深め、自己を生かす能力を養うための実践的活動を積極的に取り入れる。

学級活動では、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画し諸問題を解決できるよう互いのよさを認め合う話し合い活動を進め、自己有用感や学級への所属感を高める活動を充実させる。

委員会活動・クラブ活動・なかよし活動(たてわり)を通して異学年の交流を深め、思いやりや敬いの心・協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育てるための指導を充実させる。

【その他】

学校の教育活動は、基本的にいつでも公開の姿勢をもつ。教職員一人一人が責任をもって教育活動にあたる。

保護者には迅速・的確・誠実に対応する。学校の教育活動内で起こった事実関係を的確に把握・記録し、説明責任を果たす。早期発見・早期対応が、早期解決の決め手となる。迅速・的確な初期対応が重要である。

P T A 活動や地域行事には、積極的・主体的に参加し、保護者・地域との連携・協働を推進する。

学級学年だより・学校だより・各種たより、保護者会・P T A 会議等で積極的に学校の情報を発信し、保護者・地域の理解と支援を得られるように努める。同時に、保護者・地域の願いや要望を確実に受信し、双方向的な関係を構築する。

(5) 研究・研修

教職員は、絶えず研修と修養に努めることが求められている。変化の激しい現代社会において、子どもの実態や課題も刻々と変化する。我々教職員も現状維持は後退であることを肝に銘じ、自己の課題意識を明確にもち、自己の力量向上を目指して常に自己研鑽に励みたい。その姿勢が子どもの変容・成長に結び付く。組織的な研究体制を構築するとともに、自己の強みを伸ばすための積極的な研究参加を推進する。保護者・地域の教育に対する関心は高く、日々の授業の内容・方法についても関心が高い。保護者・地域の声に謙虚に耳を傾け、よりよい学校づくり・授業づくり・指導力の向上に生かしていく。

学校や自己の目標実現・課題解決のために、主体的に研究・研修に参加し、自己申告書・キャリアプランと連動させる。学校内外の研究授業を積極的に引き受け、講師や多くの方から指導を受ける。全員が年1回以上の研究授業を行う。校内研究を重視する。子どもに確かな力をつける授業の在り方や指導内容・方法等を講師から学び、授業力・指導力の向上を図る。研究の成果を積極的に発信し、さらなる課題解決に向けて継続的に取り組む。OJT研修を重視する。日常的に授業を参観し合い、互いに学び合う。自己の強みを伸ばすとともに、新たな視点にも果敢にチャレンジし、自己研鑽に努める。初任教員・若手教員育成のパワーアップ研修を継続し、さらに充実させる。講師依頼を積極的に引き受け、自己の資質・能力の向上に努めるとともに、研究・研修の成果を内外に広める。立小研・市や都主催の各種研修等に、主体的・積極的にかかわり、自己の資質・能力や指導力を高める。

(6) 服務

体罰の禁止。飲酒運転・セクハラ・個人情報の入ったUSBメモリーの紛失等の服務事故を絶対に起こさないこと。特に、近年増加している個人情報流失・紛失にかかわる服務事故を起こさないために、情報セキュリティを厳守する。出勤時刻を厳守し、出勤とともに出勤簿への押印を日々確実にを行う。出退勤時のマグネットの移動を確実にし、出退勤の態様を常に明確にする。出張時の旅行命令簿記入、事前申請と復命報告を必ず行う。通勤届通りの通勤を行う。年休を取得する時は、事前申請・事前承認を受ける。教室及び職員室の机上他の整理整頓を常に行う。省エネ・分別ごみ等、環境保全の意識を高め、無駄を省く。教室へ行く時刻、会議等、時間を厳守する。教育公務員としての言動・行動・服装に努め、保護者・地域の信頼に応える。ネームプレートを常に着用し、本校の教育に責任をもつ教職員としての姿勢を示す。電話の対応は相手を待たせず、明るく丁寧な言葉遣いで、本校の顔として、適切・的確に対応する。「はい、第八小学校 校長(事務室・職員等)の田中です。」校名・職・名前を名乗ることが、相手からの信頼を得る。伝言を承った場合は「へのご伝言を、副校長の宇山が確かに承りました。」と電話の最後に伝え、本人に確実に伝える。保護者・地域等の来客へは、本校の顔としての心で、明るく丁寧に気持ちよい挨拶や対応を行う。来校したものの、どこで誰に聞いたらよいか困っている来客もいる。こちらから親切に声をかける姿勢が大切。万が一の不審者抑止にもなる。「どなたかお待ちですか?」「お話は承っていますか?」「本校の職員ですが、何かお手伝いできますか?」等全教職員が「報告・連絡・相談」(報連相)を迅速・的確に行い、情報を共有する。

7. 行政系職員・市費職員に期待する協働

本校に勤務する全職員は、本校の子どもたちのために協働する『チーム八小』の一員である。本校の目指す教育の実現のために、事務・用務・給食・学校管理の各職務を全力で遂行していただくとともに、子どもたちに積極的にかかわってください。本校の学校経営計画(チーム八小プラン)を踏まえ、特に重点項目の実現を目指して、子どもたちにかかわる。安全で安心して学び生活できる環境整備、機能的で美しい環境整備を推進する。適切な予算の執行、備品の管理、文書管理等を行う。会計事故を絶対に起こさない複数のチェック体制をつくる。給食は、子どもたちの期待も大きく、食育の推進ともなる。八小の美味しい給食づくりを、本年度もよろしく願います。来校者への挨拶や接遇・電話の対応は、学校の窓口であり学校の顔ともなる。明るく丁寧に適切・迅速・的確に。「はい、第八小学校 校長(事務室・職員等)の田中です。」校名・職・名前を名乗ることが、相手からの信頼を得る。担当者や管理職への「報告・連絡・相談」(報連相)も迅速・的確に。市からのメール連絡等は、各自こまめにチェックを怠らないこと。ファクシミリで緊急連絡が入ることがあるので、FAXチェックも確実に願います。

*教職員サービスの項目も関連しているのでよろしく、特に の実行をお願いします。

平成21年度《重点目標・重点課題達成へのチャレンジ計画》

学校経営の重点目標・重点課題		重点的な取り組み内容	目標達成の姿	期待される成果	
1 た し か な 学 び	授業改善推進プランの実現。習得・活用・探究型の学習。基礎基本の定着。	授業改善推進プランに基づき、習得・活用・探究型の授業改善を行う。	プランで目指す学力を身に付けた子	基礎基本の定着と学力向上。	よく考え実行する子の育成
		算数少人数指導を充実させ、個別対応を推進し、基礎基本を徹底する。	つまづきを克服し学力を身に付けた子		
	校内研究・パワーアップ研修の充実。児童が主体的に活動する授業実践。的確迅速な組織運営。	パワーアップOJT研修を充実・発展させ、年間計画に従って互いに学び合う。	表現力・コミュニケーション能力を身に付けた子	教師の授業力・指導力の向上。	
		校内研究を充実させ、評価規準に基づき表現力・コミュニケーション能力を向上させる。	課題解決と指導力の向上	言語力・表現力の向上。	
	言語環境。国語等での言語活動の充実。外国語活動による表現力コミュニケーション能力向上。	国語・各教科における言語活動、全校の読書活動を推進する。	児童の読書量を現在の3割増にする。	主体的・創造的な学び。思考力・判断力の向上。	
		教育環境の整備。地域教育資源の活用。体験的・問題解決的な学習。主体的・創造的に学ぶ力や思考力・判断力・表現力の育成。	地域資源・『地域ふれあい資料館』を活用した教育活動を推進する。		
	音読カード・読書カード等を活用して、家庭と連携して子どもの学習習慣づくりを進める。	自ら進んで学ぶ子			
2 や さ し い か か わ り	人権教育全体計画・年間指導計画に基づく人権尊重の理念の理解・思いやり支え合う温かな人間関係の構築。	保護者・地域青少年と連携した挨拶運動を強化する。	元気に挨拶する子	人権尊重の理念を実行する子ども。	心豊かで思いやる子の育成
		保護者・地域老人会と連携した『ふれあい活動』『地域ふれあい資料館』を推進する。	人とふれあう喜びを知る子		
	飼育活動や自然体験活動を通じた道徳教育の充実。規範意識・社会性・道徳実践力の育成。	飼育栽培活動・自然体験的活動を充実させる。	小さな生命を大切にする子	生命尊重・共生の理念を実行する子。	
		ルールを守る指導・いじめを許さない指導を徹底する。	学級学校からいじめを出さない。兆候を見逃さない。		
	特別支援教育・教育相談機能の充実。特別支援指導員と連携した組織的な指導。	特別支援教育の充実を図り、ケース会議等を通して、支援を必要とする児童に確実に対応する。	必要とする児童への確実な対応。	子のニーズに対応した支援体制。	
		特別支援教育コーディネーター・特別支援指導員を中心に、教育相談体制を整備し保護者支援を行う。	保護者が気軽に相談できる場所づくり。		
安全教育の充実。安全点検と教職員研修による児童の安全確保。	安全点検・安全指導を徹底し、迅速に改善する。早期発見・早期対応・適切な初期対応。	学校事故を起こさない。	子どもの安全・安心の確保。		
	保護者・地域と連携した児童の安全確保。	緊急時の連絡・支援体制の整備。			
3 心 と 体 の 健 康	基本的生活習慣の定着。トリム活動の充実。豊かな心と健やかな体の育成。	家庭と連携して基本的生活習慣づくりに結び付く取り組みを全校で行う。	基本的生活習慣の確立。	基本的生活習慣の定着。	心体も逞しい子
		地域体育会と連携したトリム活動の充実と元気な外遊びを推進する。	健やかな体づくり。		
	子どものよさや可能性を認め励まし伸ばす指導と評価。自己有用感・自己肯定感の育成。	子どものよさを誉めて伸ばす指導を徹底する。	自分のよさを知り自己肯定感を高める子	自分に自信をもち前進する子。	
4 連 携 と 協 働	学校運営への参画と迅速・的確な対応。保護者・地域支援を積極的に取り入れた学習指導。地域や学校の特色を生かした教育推進	学校支援者と連携・協働した教育活動を推進する。(少人数指導・外国語活動・図書・ガーデニング等)	日常的に連携する体制と活動の活性化。	保護者・地域と連携・協働し、地域に生きる学校づくりの実現。	
		担当職務を生かして経営参画し、報告・連絡・相談の徹底と起案から意志決定まで迅速に遂行する。	組織の協働と校務の円滑化。		
	学校評価・学校関係者評価を生かした学校改善。地域保護者と連携・協働する学校づくりの推進。	学校評価・学校関係者評価を生かした学校改善。	肯定評価を80%以上		
		保護者が学級や学年の活動に一層かかわる体制を推進する。	保護者の来校増加		
合 言 葉	『八小の子どもは、ていねいな言葉で話します』	友だちへの「くん・さん」付け。入室時の挨拶。	継続して推進。	言葉の力と丁寧な言葉のよさを知る子どもの育成。	
		発表の仕方等の話型を全校で統一する取り組み。	ていねいな話し方を身に付ける子		

研究校指定の概要

平成21年度 立川市教育委員会外国語活動推進校指定

[研究主題]

『自分に自信をもち、楽しみながら人とかかわることのできる児童の育成』

外国語を使ったコミュニケーション活動を通してー

[主題設定の理由]

本年度より、平成23年度完全実施となる新学習指導要領への移行が始まった。平成23年度からは、全国の小学校で、外国語活動が5・6年生で年間35時間の実施となる。本校では、平成18年度より、立川市教育委員会外国語活動推進校として外国語活動の研究に取り組み、児童の表現力・コミュニケーション能力の育成を追究してきた。この3年間の研究の成果として、児童の英語を聞き取る力が上がり英語の指示で活動できるようになるとともに、意欲的にコミュニケーションをとり児童一人一人が自信をもって表現できるようになってきた。年間指導計画・年間活動案も完成し、手作り教材を一層充実させることもできた。教員もALTとのコミュニケーションが滑らかになり、授業の流れもスムーズになってきた。しかし、なおまだ課題が残っている。評価規準の作成と評価の在り方を明確化し児童が身に付けた力を確かに検証すること、実践を通して年間指導計画・年間活動案の完成度を高めることである。この課題解決を目指して、本年度も外国語活動の研究に取り組み、児童に身に付けたい表現力・コミュニケーション能力を確実なものにしたいと考え、本研究主題を設定した。

[研究の内容と方法]

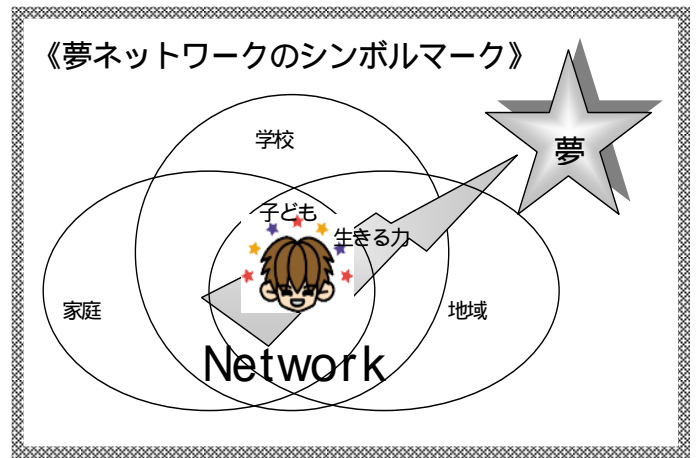
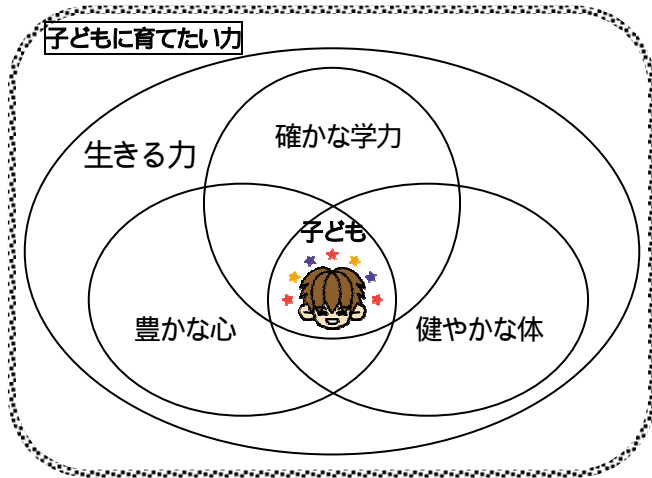
1. 研究授業を学年ごとに年間6本実践し、専門性の高い講師の指導を受ける。
2. 教員の実践研修を夏季休業中に2回行い、専門性の高い講師の指導を受ける。
3. ALT・VLT（ボランティア・ランゲージ・ティーチャ）と連携した外国語活動を、低学年10時間、中学年25時間、高学年35時間行う。
4. 平成22年2月12日（金）に研究発表会を開催し、研究の成果を公開する。
5. ご指導いただく講師
* 昭和女子大学附属昭和小学校教頭 小泉 清裕先生（研究発表会講師・研究授業講師）
* 聖学院大学講師 阿部フオード恵子先生（実践研修講師・研究授業講師）
* 元文京区立誠之小学校教諭 三浦 邦子先生（研究授業講師）

[研究組織]

- * ブロック別分科会（低学年分科会・中学年分科会・高学年分科会）
- * テーマ別分科会（授業研究分科会・日常活動分科会・学習活動分科会）

こんな学校をつくります！ こんな子どもを育てます！

《子どもの生きる力を育成する平成21年度チーム八小プラン》



保護者・地域の皆様、本日は、年度初めにあたり、本年度の本校の教育活動の方針についてご説明いたします。創立109年の歴史と伝統の中で築き上げてきた本校のよさや特色を生かし、平成23年度完全実施の新学習指導要領の趣旨を踏まえ、子どもたちの『生きる力』の育成を目指して教職員一同、『チーム八小』として力を合わせて教育活動を展開してまいります。どうぞ、本年度もご理解・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

学校の教育目標

よく考え実行する子ども	(自ら考え、正しく判断し、実践する児童の育成)
心豊かで思いやりのある子ども	(いつくしむ心で、人・もの・自然と豊かにかかわる児童の育成)
心も体もたくましい子ども	(心身ともに健やかで、粘り強くやりぬく児童の育成)

教育活動の基本方針

たしかな学び

授業改善推進プランに基づき、習得・活用・探究型の授業で基礎基本の定着を図ります。
研究・研修を通して質の高い授業を実践します。
国語・各教科を通して言語活動を充実し、外国語活動を通し表現力・コミュニケーション能力を育成します。
体験的・問題解決的な学習を充実し、思考力・判断力・表現力を育成します。

やさしいかかわり

人権尊重の教育を推進し、思いやりを支え合う温かな人間関係をつくります。
飼育活動や自然体験活動を通して道徳教育を充実し、規範意識・社会性・道徳的実践力を育成します。
特別支援教育を推進し組織的に指導します。
安全・安心の教育環境を整備します

心と体の健康

家庭と連携して基本的な生活習慣の定着を図り、トリム活動を充実させ、心と体の健康づくりを推進します。
子どものよさや可能性を認め励まし伸ばす指導を行い、子どもの自己有用感・自己肯定感を育成します。

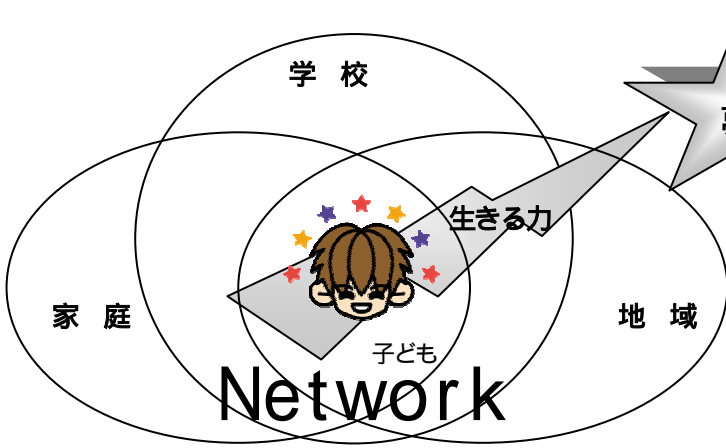
《生活の
合い言葉》
八小の子ども
は、ていねい
な言葉で
話します！

連携と協働

学習支援や地域に豊かにかかわる活動等を通して、保護者・地域と連携・協働した教育を進めます。
保護者・地域の声や思いを受け止め、評価を生かして学校改善を進めます。

こうちょうせんせい だいはちしょうがっこう こ
校長先生から 第八小学校のよい子のみなさんへ

だいはちしょうがっこう こ
《第八小学校の子どもはこんな子どもをめざしましょう！》



夢

- *げんきにあいさつ・おへんじをしましょう。
- *ともだちをよぶときは「くん」「さん」をつけましょう。
- *さいごまでていねいにはなしましょう。
- *おへやにはいるときのあいことばをつかいましょう。

こ たから ことし げんき おお そだ
子どもたちは宝！今年も元気に大きく育てね！

がっこう きょういくもくひょう
【 学校の教育目標 】

- 『よく かんが じっこう 考え実行する子ども』になります！
- 『心 こころゆた おも 豊かで思いやりのある子ども』になります！
- 『心 こころ からだ も体もたくましい子ども』になります！

せいかつ あ ことば
《生活の合い言葉》

はっしょう こ
八小の子どもは、

ていねいな ことば 言葉

はな はな できん！ まオ！

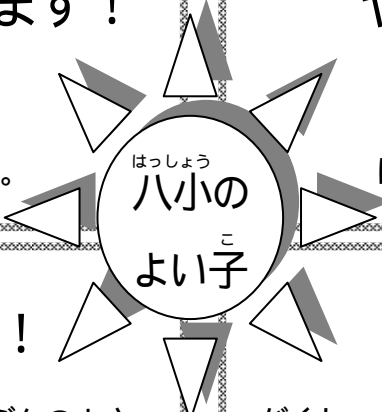
がっこう ちから
【 学校でつけたい力 】

まな ちから
しっかり学び力をつけます！

せんせいのおはなしをしっかりと
きいて、じぶんからまなびましょう。

ひと
やさしい人になります！

ともだちやどうしよくぶつをたいせつ
にし、やさしいところですごします。



こころ からだ げんき
心も体も元気です！

ルールをまもってせいかつし、じぶんのよさ
をみつけましょう。いっばいうんどうします。

ちいき ひと まな
地域の人と学びます！

がくしゅうやせいかつのおてつだいしてくださ
るかたたちとともに、たのしくまなびましょう。